臺灣日日新報 夕刊 六月二十一日
夕刊定價一部二錢
發行所 臺灣日日新報社

シヤチハタ 万年スタンプ台

皇民奉公會輝く首途

全島運動展開の魁

臺北州支部逞しき誕生

自二十萬州民の感激を以て待望されてゐた皇民奉公會臺北州支部結成の日二十一日は來た、この日こそは島民が多年熱願してゐた特別志願兵制度實施が發表された日で偶然とは言へ州民の感激は殊更に深い、島民の感激感謝のるつぼの中、紺碧の空の下に軒並に香はしの初夏の風に日の丸の旗がはたはたとはためき感謝の色みなぎる正午頃から州民代表三千餘名は續々と式場たる臺北市公會堂につめかけ、さしもの大會堂も立錐の餘地なき迄にうづめられ、かくて定刻午後一時十分、皇民奉公會總裁長谷川總督、本間軍司令官、奉公會中央本部長齋藤總務長官、和知參謀長、酒井海軍武官、山本軍務部長、河村局附を始め本部參與各部長臨席の下に嚴肅盛大に式は開かれた、先づ宮城遙拜に次で奏樂裡に皇軍將兵の武運長久祈願並に戰歿將兵英靈の安らかな默禱を捧げてから松山臺北州知事兼支部長式辭を述べ、國歌齊唱の後、三輪支部長は感激と決意に双頰を紅潮させながら壇上に現はれ、式辭を一語一語力強く朗讀し、終つて總裁たる長谷川總督は別項の如き告辭を朗讀、總督自らが本運動の先頭に起ち臣道實踐に邁進する旨の不拔の決意を表明すれば、更に本部の如き拍手起る、次いで齋藤中央本部長は訓示を述べ、次で一如、六百萬島民が一心一體となつて本運動に邁進せよと呼びかけた後和知參謀長、酒井海軍武官、河村本部局附、香久本部局附の各祝辭があり、いづれも支部の輝かしい發足を祝福すると共に州民不退轉の決意を強調、それより石渡大政翼贊會事務總長を始め內地各方面より寄せられた十數通の祝電の披露あつて三輪支部長が壇上に起ち「皇民奉公會綱領」を力強く朗讀すれば、參列者一同拍手を送つてこれに應へ、最後に本間軍司令官の音頭で 天皇陛下の萬歲を高唱して午後一時五十分目出度く結成式を終了した

剛健なる民風振作

總裁告示 率先垂範を披瀝

長谷川總督の告示左の如し

皇民奉公會臺北州支部の結成式に臨み、本運動の大綱につき所信の一端を申陳ぶるは私の最も欣快とする處であります

皇民奉公運動の最高目標は云ふ迄もなく、高度國防國家體制の確立といふ一點に集中されて居りますが、此の體勢を速かに整へることの必要なことは今日の國際情勢を靜かに觀察致しますれば、極めて明かになることと信じます、即ち國防力の薄弱なる國は、大きくくに敗退衰亡し、實力を有する國は、漸次強大となり、民族の生存並に繁榮を確保し得るのであります、是等事例は私共の眼前に繰りひろげられて居るのであります

この國防國家體制を整へるためには、全島六百萬住民が直に皇國精神に徹し剛健闊達なる民風を振作し、新しい國民組織の下に勇ましく其の目標に向つて、實踐行動を起す外ないのであります、本島民衆は此の組織を通じ皇國臣民としての輝かしき務りと明日への希望とを持ち續け夫々の職場に於て力強く御奉公する樣に致さねばなりません

殊に今回當臺灣に志願兵制度が布かるることになり、未だ兵役に服し得ない全島の青年層に對し茲に始めて皇國民としての希望の新天地が展開せられ、今後國民としての實踐行動上、多大の期待が懸けらるる事と相成つた次第であります

最後に本奉公運動は實踐を主眼と致しまするが故に、私自身も皇民奉公會總裁として關係當局と共に、六百萬民衆の中に溶け込み、率先垂範するは勿論更に本運動をして有終の美を濟さしむべく諸君の努力を傾くる覺悟であります、何卒各位に於かれては、率先挺身、本運動の上に奉公の至誠を盡されんことを、只管熱望して止まない次第であります（寫眞は告示を讀む長谷川總督）

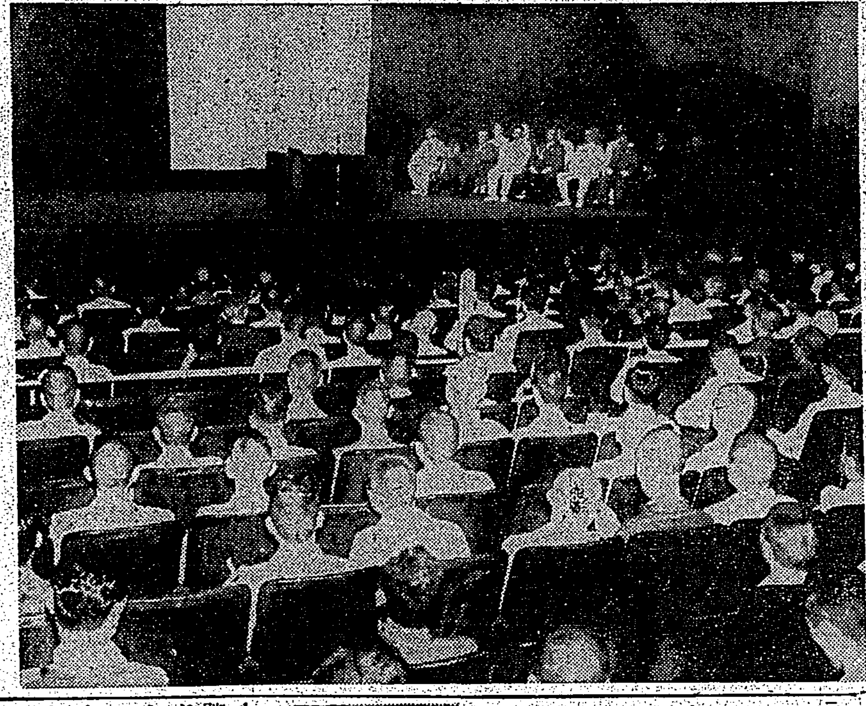
志願兵制度の發表

本運動發足を祝福

三輪地方支部長式辭

三輪地方支部長の式辭左の如し

本日茲に總督閣下、軍司令官閣下並に軍官民各位の御臨席を仰ぎ、州民と共に皇民奉公會臺北州支部の結成式を擧行するを得ますことは私の深く光榮とし、且つ欣快とするところであります、特に同々本日多年島民に依つて熱望せられたる特別志願兵制度施行が決定發表せられ、本島に於ける皇民鍊成の最高目標に向つて邁進するを得るに至りましたことを惟ふ時、感慨一入深きものがあるのであります……世界の歷史的轉換期に際會して、我國は國の大理想に立脚して、東亞共榮圏を確立して世界新秩序の建設に寄與せん……



皇民奉公會臺北州支部發會式の全景

汪院長平沼內相を訪問

【東京發同盟】汪國府行政院長は二十一日午前十一時二十五分平沼內相を內相官邸に訪問、國府育成強化問題に關し會談したが、席上內相より「現在の我が對支根本方策は自分が首相當時に聲明した國府育成方針と何等變更はない、依て既定方針に基き邁進されたい」と激勵し、これに對し汪院長は「日本の協力を得て大いにやりたい」と述べ會談二十五分にして辭去した

獨逸の公海獨擅を米國は許容せず

ルーズベルト大統領、教書を發出

【ワシントン二十日發同盟】ルーズベルト大統領は二十日議會に特別教書を送り、アメリカはドイツが勝手に公海を使用するのを許容し得ないと宣言した【寫眞はルーズベルト大統領】

【ワシントン二十日發同盟】ルーズベルト大統領特別教書內容概略左の通り

米國はドイツが公海を勝手に使用することは許容し得ない、公海にある船舶を濫りに擊沈することは非道であり、國際法が嚴に禁ずる所である、ドイツはロビン・ムーア號を擊沈し、米國の商業を公海より驅逐せんとしたのである、ドイツは本事件に依りて米國を脅迫し米國の援英政策を放棄せよと事實上通告したも同樣である、要するにロビン・ムーア號の擊沈はドイツの世界征服の行動に抵抗すべからずと米國に通告したものであり、この通告の意味は公海の使用はドイツの許可があつて、始めて成し得ると云ふにある、吾々がドイツのこの要求に屈服することは世界支配を現在のドイツの指導者の手に委ねることである、然し吾々は屈服する意思はない、米國政府は防衛力のないロビン・ムーア號を無慈悲に擊沈したことはドイツ側に全責任があるとの立場を堅持する米國市民がこの事件に依つて受けた損害は全的に賠償すべき責任がドイツ政府にある

英國側商船損失

百萬噸を突破す

二ケ月間の獨軍擊沈數

【ロンドン二十日發同盟】英海軍省は二十日五月中に於ける英國並びに聯合國、中立國の商船損失に就き左の數字を發表したが、これに依れば四、五の二ケ月間に於ける英國側の商船損失總噸數は百萬噸を突破して居る

一、五月中に於ける英國並びに聯合國側の商船損失は九十八隻、四十六万一千三百二十八噸で、英商船の損失は七十三隻、三十五万五千三百二十一噸、聯合國商船……

……一、四、五の二ケ月間に於ける英國商船損失は百四万二千五百七十……

英國設置

專任國防相を

首相兼攝辭任

【ロンドン二十日發同盟】……

議會の諒解獲得へ地馳て

教書發出理由

【ワシントン二十日發同盟】ルーズベルト大統領が二十日議會に送つた特別教書はロビン・ムーア號事件に關し國際法上の責任を米國が……

佛軍シドンを放棄

ダマスクス郊外尚激戰

【ダマスクス二十日發同盟】……

クライスラーの三工場罷業

【デトロイト二十日發同盟】……

伊土新通商協定

アンカラで進行中

【ローマ二十日發同盟】……

汪院長首相を訪問

荻窪の私邸に重要會談

海軍、汪院長歡迎

國府育成強化を懇談

及川海相挨拶

皇民奉公會顧問に本間中將と山本中將

總裁名を以て人事發表

皇民奉公會では二十一日附、左記の如く總裁名を以て人事を發表した

臺灣軍司令官 陸軍中將 本間雅晴
馬公要港部司令官 海軍中將 山本弘毅
皇民奉公會顧問を囑託す
堀內次雄
臺灣軍參謀 陸軍少將 酒井茂吉
陸軍大佐 安藤正次
海軍大佐 松本毅
林熊徵
皇民奉公會參與を囑託す

齋藤中央本部長の旅程決定

皇民奉公會齋藤中央本部長は二十三日午前九時半臺北發、左記日程に依り各州支部結成式臨場、二十七日午前八時八分臺北の豫定である

△二十三日新竹△二十四日臺中△二十五日臺南△二十六日高雄

尚本部より河村局附が同行して結成式に參列祝辭を朗讀の筈

英埃向け石油積出しを米大統領許可

【ワシントン二十日發同盟】ルーズベルト大統領は二十日全石油製品の輸出を輸出統制官の管轄下に置くと共に、東部諸港より船積の石油に關し英帝國、エジプト及び西半球諸國向けのものに限り輸出を許可する旨の命令を發した、右に關し政府當局はメキシコ灣沿岸及び太平洋諸港よりの石油輸出を更に制限することは今の所考慮されてないと發表した

佛印情報部を新設

樞軸協力態勢

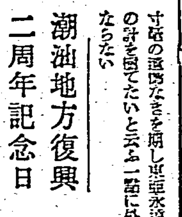
【ハノイ二十日發同盟】國際的な接近政策、對支戰爭の時代から日佛印經濟協力、現佛協定の新時代に急展開を行つた佛印にとつて今日英米依存乃至は英米への感情的好意を離脱し得ない當地佛人間の輿論指導は當面の大問題と見られるが、佛印政廳では今回情報統制官傳活動などを強化するため今まで總督官房教育局などに分散していた情報關係諸科を統合して情報部を獨立せしめることとなり、新設部長には佛本國から最近到着したロープ海軍大佐が任命された同部は情報、新聞、宣傳の三科に分れて居り近くペタン政府政策の宣傳に積極的活動を開始する準備を整へてゐる

趙中山縣長狙擊されて遂に絶命

【廣東二十日發同盟】廣東省中山縣長趙縣長氏は去る十六日自動車で澳門を視察中午後五時頃澳門西南日報社前において突如狙擊をもつて狙擊されその場に昏倒、手當の甲斐なく遂に絶命した、趙縣長は本年四月廣東大臣の推薦として就任以來中山縣政に盡瘁を擧び民衆の信望を集めてゐたものでその急逝は各方面から痛く惜まれてゐる

潮汕地方復興二周年記念日

【汕頭二十一日發同盟】昭和十四年六月二十一日皇軍が陸海軍の緊密なる協力の下に南支新津灣附近に敵前上陸を敢行し一擧にして汕頭を攻略してより茲に滿二年、……



三國志 (518)

（出廬の卷）

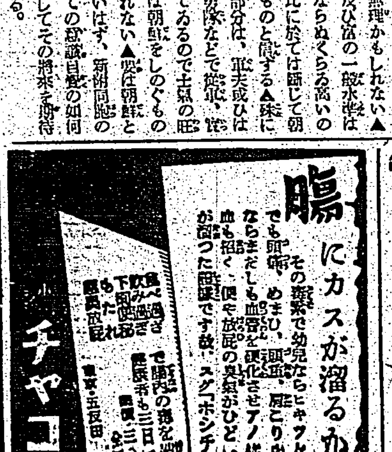
吉川英治作
矢野橋村畫

逆卷く黃河（一）

人事

▲岡田幸生氏（臺灣試驗所長）二十二日來北（朝鮮館）
▲日下信氏（臺灣銀行東京支店長）二十三日來北
▲大阪商船氏（台灣神社前ホテル）…
▲陳啓能氏（新興製糖社長）二十一日來北
▲谷口男三氏（大成火災支配人代理）二十日內地より歸北

無絃琴



志願兵制度を喜ぶ

全島各地で祝賀式 來る二十七日一齊に

本島統治史に輝しい一頁を飾る志願兵制度の實施は本島人大衆永年の熱望に應へる最高の榮譽であり同制度實施の壁に湧き立つ島民の感激に呼應して全島各市、街、庄に於ける祝賀式は二十七日午前十時半より官公署、會社、團體、一般（銃後奉公會其他本島人、高砂族青年）多數參加の下に一齊に擧行されることになつたが式次第は次の通りである（一）開式（一）宮城遙拜（一）國歌奉唱（一）祝詞（一）式辭（一）宣誓（一）祝辭（一）總督訓示（十一時）（一）萬歲奉唱（軍司令官發聲）（一）閉式（注意）（一）各市街地に於ては開會前日萬三發を打揚ぐ（一）午前十一時總督訓示に引續き軍司令官の發聲に依り萬歲三唱を發すが之は新公園の祝賀會場からラヂオで全島に中繼 各地會場はラヂオに和して式を進めることになつてゐる

△提燈行列 右祝賀式終了後引續き擧行 二十七日午後八時擧行

基隆で感謝式

【基隆電話】劃期的な本島志願兵制度の實施に際し基隆市に於ては二十一日午後三時から高砂公園に於て感謝式が盛大に擧行された

喜ぶ新竹市民

【新竹電話】二十一日の志願兵制度の實施發表は新竹市民を湧き立たせ全市は各戸に國旗を掲揚し道行く本島人青年達の顏にも喜びがあふれてゐる同日午後三時より新竹國民學校校庭に於て宮木知事、矢野市長外銀行、會社、組合、團體代表多數參列の下に感謝式を擧行 矢野市長の制度の趣旨に關する説明があつて宮木知事の發聲で天皇陛下の萬歲を三唱、同四時式を閉ぢたが市內の本島人青年と言ふ青年の大半が率先參列し意義あるこの行事に錦上更に花を添へる感を與へた、市內各官衙では午前中に夫々各所に於て右制度に關する記念式を行つた

奉公會の新竹支部から要路へ感謝電

【新竹電話】新竹州では二十一日午前十時より新竹市公會堂に於て皇民奉公會支部參與、委員の初顏合せを兼ねた第一回懇談會を開催、宮木支部長の挨拶後令交付、大塚[illegible]な意見交換が出て午後零時半終了したが、州下六百九十五部落會、[illegible]

この感激を胸に 今こそ起つべき秋

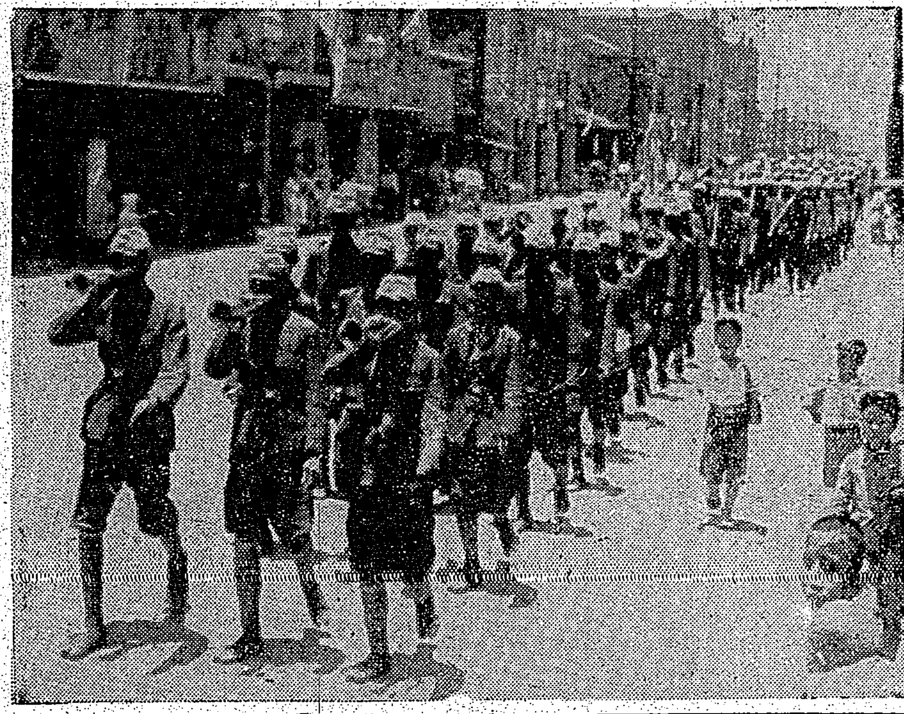
勤報青年隊員ら感激

本島兵制史に一新紀元を劃すべき志願兵制度が愈々實現することになつた、汗にまみれ乍ら神社の御造營に臺灣神社の際築工事にまごと血の滲む奉仕を續けて來た勤行報國青年隊員の不斷の努力と精誠は終に報いられる日が來たのだ、「天に代りて不義を討つ忠勇無双のわが兵は歡呼の聲に送られて……」千里の征野に勇躍身を挺し君國の爲に殉ずることをどれ位待ちあぐんだことか、ああ今こそその願は叶へられんとするのだ、二十一日午前十時青年隊大直訓練所では梁井總監、太田隊長、大島所長等が出席して志願兵制度實施決定に對する感謝の式が擧行された、宮城遙拜も國歌奉唱も一際厳粛に皇軍勇士の武運長久、殉殁將兵に對する感謝の默禱も、今こそ身に直接な感激としていや切實なものがあるのだ、梁井總監は昨日臺灣にも志願兵制度を實施することが閣議で決定をみた、臺灣青少年にとつてこの位うれしいことはないと思ふ、これも一偏に陛下の大御心、一視同仁の御精神の現れであつて恐懼に堪へない次第である、本島青少年は決して半島の同胞に劣る處はない、殊に勤行報國青年隊は結成以來目ざましい活躍を續け其成績は各方面から賞讚されて來た、このことが本制度施行確定を促進したものと確信する、今こそ諸君は率先志願して陛下の大御心に御應へ申上げて欲しい と訓示を行ひ太田隊長も立つて一同を激勵すれば林宏朝君隊員を代表して感激共に下らんとする感激の答辭を述べ、聖壽の萬歲を三唱して十時四十分閉式した、隊員は正午營門を出發、臺灣神社、臨時[illegible]に詣でた後、ブラスバンドを先頭に街頭行進を行ひ三時新公園で行はれる臺北市主催の感謝式に參列、更に總督府、軍司令部、海軍武官府、建功神社前を過ぎて五時半歸營することになつてゐる

島都での行事

本島の歷史に劃期的な一頁を畫きおろした特別志願兵制度はいよいよ昭和十七年度から實現される事となつた、永年待望して來ただけに島民の歡喜は如何ばかりであらう、本島人はここに名實共に皇民としての榮譽がになはれるわけだ、全島津々浦々には感激歡喜の怒濤がうづ卷き、廿一日から感謝と祝賀をこめた記念行事が次々と繰擴げられるのである、島都における記念行事は市役所が主催となり左記の如く決定、三十五萬市民を擧げて感謝と慶祝の誠意を披瀝する事となつた

△國旗掲揚 二十一日より三日間及び二十七日全市國旗掲揚のこと
△映畫及講演の夕開催 二十一日午後七時半太平國民學校校庭、二十二日同蓬萊國民學校校庭、二十三日同大龍峒國民學校校庭、二十四日午後七時半龍山寺前、二十五日同新公園
△臺灣神社參拜 二十二日以降隣組會毎の協議會團體を以て神社參拜をなすこと
△青年の夕開催 二十六日午後七時半臺北市公會堂に於て
△祝賀式擧行 二十七日午前十時半臺北公園に於て
△分列式並旗行列擧行、



喜びの日に堂々街頭を行進する勤報隊員

堂々行進 吹奏樂隊員 あす島都の街

時局の志願兵制度實施の發表した二十一日の島都は三十五萬市民の感激を如實に反映して戸毎に掲げた國旗はためくと共に歡喜気分を湧き立たせてゐるが、臺北吹奏樂團に於ても空前の制度實施を祝して二十二日午後四時より三百名に上る團員を集めて二班に分ち島都街路に堂々の吹奏行進を催すが、同夜七時半から新公園音樂堂に於て野外演奏を行ひ島都の隅々にまで祝賀気分を漲らせる[illegible]

志願兵制度への祝辭

愈々朝鮮に志願兵制度の實施を見るや本島に於ても之が實現を要望する聲日毎に熾烈となり或は獻金、獻品に我國の精神を披瀝し或は出征軍將兵の慰問等によつて銃後支援の赤誠を捧げ更に血書を以て兵役を願ふ者も現はれるに至つたので愈々統治史に新紀元を劃すべき志願兵制が布かれることになり、二十日閣議の決定により本年末か遲くも來春迄には勅令を以て公布、愈々昭和十七年度から本島に於ても實施されることになつたので、之が制度實施決定に際し酒井海軍武官、石田憲兵隊長、三輪臺北州知事は二十一日左の如き談話を發表した

本島統治史上に劃期的な飛躍

臺北州知事 三輪幸助氏談

今般本島に於て年來の懇望でありました志願兵制度が施行せらるることになりまして本島統治上眞に劃期的飛躍を見るに至りましたことは共の歡喜極めて深く

寔に慶祝に堪へない、顧みますれば本島領臺以來四十有六年を閲し此の間幾多無逸なる皇恩と歷代總督の施政宜しきを得て島民は生を君國に享けたるの光榮に感激し皇國臣民としての錬成の道に着々と進められ、殊に今次支那事變勃發するや此の國民意識の昂揚は益々高調に達し一死君國に報ずる愛國の精神は全島青年の血に漲り曩に朝鮮に於て特別志願兵制度の施行を見るや本島にも本制度施行を

熱望する[illegible]として起つたのである、申す迄もなく戰の勝に起つのみが君國に報ずるの途ではなく各人の職域に於て奉公の誠を盡すことが即ち天皇陛下の大御心であるが軍人勅諭にも仰せられてあります通り軍人は陛下の股肱であり國家の干城でありまして男子の面目之に過ぐるものはない、兵役の重たるや日本臣民の義務たると同時に崇高なる權利でありまして本制度施行に依り日本國民たるの榮譽が名實倶に具現せられ、皇國民錬成の最高目標に向つて飛躍的進展を見るに至ることを確信するもので、殊に昭和十八年度より實施せられる義務教育制と併せ考へま

皇民の自覺を深めよ

海軍武官酒井少將の談

待望久しかつた本島の志願兵制度が近く制定される事となり本島の黎明として始政四十六年を迎へる今日本島同胞の將來に大いなる光明を與へたものであると信ずる、これによつて帝國の國防の第一線に參加して舞に制定を見た朝鮮同胞と共に、その喜びを一にし輝かしき帝國臣民として光榮ある陸軍部隊に編入される機會を上陛下の厚き御仁慈により與へられ、ここに始めて本島同胞の陸軍兵役志願の道を開く一大恩典に浴す事は本島六百萬島民の感激善し大いなるものがあらう、惟ふに今次事變勃發以來本島同胞によつて示された時局認識に基く赤心の發露はすでに一般の認むる所である、即ち出征將兵の武運長久祈願の神社參拜、國防獻金品の獻納或は從軍すとき內臺一如の施政は更に數歩を進め本島民の大日本國民として の飛躍は期して俟つべきものであるを痛感するものである、今や皇國は四圍に厄り八紘一宇の大理想實現の聖戰を進めつつあり大東亞共榮圈確立の前進據點たる本島に生を享ける者が畏くも陛下の股肱たるの大任を負荷され一死君國に殉ずるの路を拓かれましたことは島民として至大の榮譽であり皇恩の有難さに只感泣するのみで時恰も本島六百萬島民の總力の[illegible]國の禁意の結晶として生れたる島民奉公會は一昨日國民運動に邁進せんとしつつあるのでありまして六百萬島民一心となり高度國防國家體制確立を期し以て皇恩の萬分の一に報い奉る覺悟がなければならない

深く認識して居たのであるがかかる實際の成果が今回の志願兵制度となつて實現した際に思はれる、希くは此の機會に於て青年諸君は勿論、一般銃後同胞も愈々奮勵以て皇國民たるの自覺を新たにし心身の錬成に努め各其の赤誠を披瀝して限りなき御惠に報ひ奉るため職域奉公に邁進されん事を希望する

日本男子としてこの上ない名譽

石田臺北憲兵隊長の談

志願の血書の如き、更に進んで實際從軍した彼の軍夫、通譯の如きが如何にも立派な働きをして第一線將兵に容しく稱揚されたことは吾等の特に感銘した處であつた、尚又島内にあつても勤行報國青年隊或は之に類する團體の整然たる訓練振りや、各地方にある青年道場の模様等を實視して、本島青年の心構の程を

兵役が我が日本臣民の三大義務の一つであることは云ふ迄もないが此の崇高なる大義に基いて世界に比類のない皇軍の一員として御奉公が出來ると云ふことは日本男子として此の上もない名譽である、畏くも陛下の股肱とならせ給ふ無上の光榮を負はせて頂くのであつて日本臣民として誰か此の榮譽に感激せざるものがあらうか、今回我が臺灣に志願兵制が近く施行せられんとするに至つたことは實に臺灣にとつて劃期的なものであつて[illegible]潤本島人の喜はどんなであらうかと只管同慶に存ずるので思ふに本島人が數十年來皇室の御仁慈の下に皇民[illegible]を重ね殊に今次事變以來は[illegible]民道の實踐に邁進し大いに質的向上を圖つた際に茲に到達し得たのであつて吾人は本島在住の一民として又格別の悦しさを禁ぜざるに祝福せざるを得ないので

ある、然し此の機會に於て仔細に島内の狀況を檢討すると本島人大勢の中には未だ皇民として自覺に乏しい者もあつて甚だしきは不逞の犯罪をも敢てするものが今以て無いではない、之は數に於ては極めて僅少で文多くは大局が見えず時局が認識せられざる頑迷固陋の徒輩であつたり、或は將蔣軍や敵性列國の謀略と氣がつかずに之に乘ぜられ踊らされて居る連中であつて其の行爲や憎むべしであるけれども一面大いに気の毒に思はれ

我々島民の最高榮譽

府評許丙氏談

島民の待望久しかつた志願兵制度が[illegible]

小林少佐と矢野伍長の陣歿英靈あす無言の凱旋

[illegible]

農村の婦女子起て

老婆の麥刈る姿に乙女心打たる 農報挺身隊の歸臺談

【基隆電話】臺灣の婦女子たちがもつともつと今日の時局に目覺めて職場に進出活躍してもらひたいとの趣旨で第一回臺北州農村婦女子挺身隊員の第一班官[illegible]

[illegible]

全島主要都市で時艱克服講演會

演者は中井良太郎中將

[illegible]

齋藤總務長官全職員に訓示

[illegible]

河村社長から社員に趣旨徹底を說く

[illegible]

全島中等野球 來月下旬開催

[illegible]

青年團結成一周年大會は中止

[illegible]

前田は一年六月

[illegible]

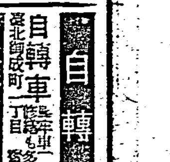
基隆で第三種防空訓練開始

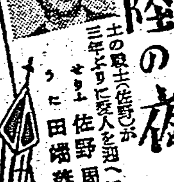
[illegible]

臺日案内

書籍 臺灣總督府情報部推薦 臺灣七十年 臺北市大和町 電話[illegible]
臺北市內各書店 競馬ニュース
福州市街明細圖 泉州及廈門明細圖 臺灣時報發行所
醫院 性病科 永吉醫院
産婦人科
寫眞 印畫紙 マーツロールホルダー 中古カメラ高價買入 吉田寫眞機店 スーパーレフ ローライコード マリツクスカメラ
大名刺乾板多數入荷
金融 商品券 電話 三成社
時計眼鏡 和田はメガネ專門 メガネ 日光堂 メガネは金光堂 時計修繕
ラヂオ器械 ラヂオ十ヶ月月賦販賣 ラヂオ十ヶ月月賦 ラヂオは中川
洋服 婦人服地新入荷 國民服中衣發賣 純本麻服
樂器 ピアノオルガン 蓄音器在庫 ピアノ・オルガン
藥種商 梅肉X 淋病にコクチーデ 薬ドラミン
染物洗張 のせ京染 染色整理 島内で染る京染
自轉車 雜件 特許辨理士岸喜 新古日本刀賣買 節米カマド 節炭コンロ 研並に刀劍賣買 御國の爲に國債を 荷馬車運送 山村荷取扱所 貝塚伊吹大量生産 西式健康法道場 ヤスリ 登山靴 株式相談絶對無損 計理士 アイスモナカ 特許冷藏庫 牛馬車、手挽車
急募 給仕（內地人滿十八歲迄高小卒）若干名 女給仕（內地人滿十六歲迄尋小卒）若干名 臺灣合同鳳梨株式會社

ポンジー粉白粉 初夏あなたの清涼美のために 發賣元 コテイー代理店
毛根に活を入れるビタミンF配劑の メデカ ポマード 丹頂化粧品本舗・金鶴香水株式會社
洗髮回數が少ないから、御婦人は常に髮の臭みに御注意―肝要！ 黑髮をつくる頭髮香水 ゴコーのかほり
健康増進に ネオトン
伊豆椿ポマード 潮風と競ふこの香！！
新譜七月 ポリドール 宮本武藏 空の宮様 承久樂 亡き子に タイの夜 夢の夜 奥村和子 上陸の夜 南への道 J・シュトラウス名作集 スペイン歌謠集
虎造の清水次郎長傳 待望の後篇・遂に出づ！！ テイチク
パピリオ クレーム三種





歡喜と感激渦巻く潮汕地方

輝く二周年を迎ふ

記念祝典の復興大繪卷

昭和十四年六月二十一日拂曉波濤を蹴つて我が陸の大兵團が突如汕頭附近三ヶ所より敵前上陸を敢行、所在の敵を蹴散らしながら同日午後二時五十分完全に汕頭を占領、燦然たる日章旗を靡かしてから恰度二年目、現地汕頭に於ては日華兩國官民による盛大なる記念祝典が擧行される筈であるが、多年の暴政と苛斂誅求に生色の無かつた潮、汕地方民は今や"防共和平"の國民政府治下に蘇生、その面目は全く一新するに至つた、ここに繰ひろげられる汕頭復興の大繪卷は將にこの感激なる現地報告であり、そのままに新生支那の姿の臨寫である

皇軍の往くところ

華人樂業の新秩序

粤東派遣軍司令官祝辭

【汕頭支局發】本日茲に潮汕地方更生二周年記念日を迎ふるに當り汕頭日日新報紙を通じ所懷の一端を開陳し得るは予の光榮とする所なり

惟ふに二年前の今日皇軍の精鋭が堅固を誇る陣地を蹂躙し、正義日本の堂々たる威容を中外に闡明すべく、陸海空の完全なる協力一致の下に陣前の敵を殲滅して新港に奇襲上陸し、一氣呵成に汕頭に突入し、次いで潮州に進軍して潮汕平原を席捲、皇軍の赴く所全く敵影なく、汕頭、潮安、澄海、掲陽、潮陽の各地區も相次いで和平安定地帯となり潮汕地方は眼前に誕生して治安確立し生業の恢復を見るに至れり

爾來皇軍の指揮と維持とにより民衆は日々安居樂業の區域を擴大し、又救濟事業を始めとして中國民衆の福利の增進に努めたり……皇軍の行く所に汕頭市民は日一日と皇軍を敬慕し……

戰亂の目的完遂に邁進しあり、就中軍及び民衆は三軍の司令官並に治安維持にあたる官憲の指導の下に汕頭の民心は安定し……

以上一言以て光榮ある記念日の祝辭となす

皇軍の懷に抱かれ

着々明朗の道邁進

汕頭駐在海軍武官祝辭

【汕頭支局發】本日は今を去る二年前皇軍の精鋭部隊が堅の認を衝いて汕頭に敵前上陸を決行し、同日午後完全に汕頭地區を占領せる意義深き二周年記念日であります、當時の海軍に關する作戰記録によりますと次の如く記述されてゐます

近藤南支海軍部隊は陸軍部隊と協同、六月二十一日汕頭を攻略せり、即ち海軍部隊は○○部隊を護衛し二十一日夜半汕頭港外泊地に進入、之が揚陸援護に任じたり

海軍陸戰隊は同日媽嶼、鹿嶼、馬嶼を占領し、一方海軍掃海部隊の一部は廣澳水道の水路啓開作業を行ひ敵設置多數を處分し又砲臺前所を破壞せり

之に引續き艦艇部隊は馬嶼砲臺を制壓沈默せしめつつ汕頭港内に進入す

港外に待機中の輸送船隊は夕刻より港内に進入を開始す、午後三時頃陸軍部隊の先頭は汕頭市街に突入せり

翌二十二日早朝市内掃蕩と共に陸戰隊の一部は汕頭附近に上陸市内警備に就きたり

本攻略作戰中、海軍航空部隊の精鋭は海陸作戰に協力し作戰目的の達成を容易ならしめたり

とある、當時斯くも大膽迅速に皇軍の奇襲作戰が行はれ、皇軍の銃砲撃空爆の兩炸が迷妄の暗雲を吹飛ばして、今日の明朗汕頭の更生を齎したことを考へれば、轉々感無量なるものがあるのであります

由來汕頭は天津、青島、上海、漢口、廣東と共に支那六大商港と言はれ第三國入港船舶月百二十隻、對支貿易の四割を占め、援蔣物資が大手を振つて流入して居たのであるが、爾來皇軍はその占據地區を擴大し、今春亦粤東地區の重要據點たる潮陽、汕尾及その附近一帶の地を攻略して、援蔣路線は殆ど遮斷され……

【汕頭支局發】汕頭攻略一周年記念日を迎ふるに當り、貴紙を通じて所懷の一端を述べ得ることは、私の欣幸とする所であります、顧みるに一昨年の本日、我が精鋭なる陸海軍は堅固作戰に依り、蔣政權の頼みとした南支最大の輸血路、汕頭及其の附近を攻略し、彼等の咽喉に致命的な匕首を擬したのであるが、爾來皇軍はその占據地區を擴大し……

……我が精鋭無比なる皇軍の偉大なる業績であつて、我々は此の偉大なる使命達成の爲、興亜の人柱として華と散つた護國の英靈に對し、茲に衷心感謝の念を新たにすると共に、その冥福を祈つて已まぬものであります

五月末現在に於て、共敵二千九百十二名（内地人一、〇四三）……

中日和平合作

洋々の前途

許少榮汕頭市長祝辭

【汕頭支局發】東亞の盟主日本が我等の公敵容共抗日の蔣軍閥を掃滅すべく聖戰の鉾を富汕頭へ進められてより二星霜、早くも二周年記念日の佳き日を迎ふるに當り汕頭日日新報紙上にて一言慶祝の辭を述べ得るは本職の最も欣快とする所なり

惟ふに蔣方が無謀にも容共抗戰を唱へ、富汕頭にもその自殺的抗戰を強行して以來文字通りに農は野に窮れ、商は街に淋れ、四民は失業して各所に流離し、痛苦の限りを嘗めたるなり、然れど皇軍の武威一度當地に伸びて、敵軍を沮ひ拂ふや恰も雲霧飛散して新たに青天白日を仰ぐが如く反共和平を國是とする同志眞眼の同志が續々として集ひ靜り、僅か二ヶ年にして市は復興し、庶民は斉しく安居樂業を謳歌しつつあるは、これ全く友邦日本が善鄰親和、中日提携の大方針の下に幾百の犧牲を惜まずに防共剿匪、只管中國國民の福利增進を目差し善處されたる賜物にして、中國國民の斉しく感謝し措く能はざる所なり

過ぐる二ヶ年の中國民政府は國家の法統を繼承して南京に還都し、廣東省政府又相次いで成立を告げ、茲に我が國の政情始めて安定し、戰禍に捲き込まれたる塗炭の民衆又始めて救はれ得たるなり、我が汕頭市政府又斯かる國情の進展に伴ひ、昨民國廿九年に籌備委員會を發展的に解消して市政府として、本年更に本省政府の方針に基く諸般の市政の整備全く成り愈々中央並に本省政府と歩調を合はせ中日文化提携に、はた又經濟合作に着々と其の實を擧げつつあるはこれ實に中日和平合作の洋々たる前途を物語るものにして、吾人をして益々東亞の新建設に身命を賭するを誓約するものなり

尚當市の復興と發展に關し、臺灣總督府當局より寄せられたる種々の御協力並に當市の派遣せる視察團に與へられたる※閥の懇切なる御芳情に對しては衷心より感謝申上げ居る所にして、此の佳き記念日に際し※臺灣日日新報紙上を通じ厚く謝意を表する次第なり

將來の進展に

臺灣の後援期待

高井汕頭領事の祝辭

……の攻略と共に茲に府政權治下の六大商港が全部封鎖される事になつたのでありまして、汕頭攻略作戰の持つ意義が如何に重大であつたかを知ることが出來ます

さて私は五月下旬當地駐在武官として參りましたが、上陸の第一印象は汕頭は平和であり明朗であり、そして希望に充ちてゐるといふことであります

それは合歡の花咲く街路樹下を往來する行人の顏に微笑みがあり「ドロンワーク」洋ふ商賈の營業に損傷がなく玉蘭の花插頭して外馬路をそぞろ歩く婦人を通ふ佳人の群が日没を過ぎても見受けられ、中央飯店の露臺から市内を見降すと、打牌の音が喇叭と胡弓のリズムの中にとけ込んで聞えるからであります

私は數年前汕頭潮州に旅行したことがありますが、其の當時と比較しますと實に汕頭は過去の惡夢から目醒めて、皇軍の大きな溫い胸に抱かれ一筋に更生明朗汕頭の實現に邁進してゐる姿を發見することが出來るのであります

私は占領二ヶ年後の今日治安確立し、産業復興し、日支親善の實態々揚りつつある事を祝福すると共に、東亞新秩序の一翼を共に背負つてゐることを肝に銘じて、益々聖戰目的達成に邁進せんことを共に期したいと思ひます

最後に本作戰並びに爾後當方面に活躍されたる護國の英靈に對し、衷心感謝を捧げると共に其の冥福を祈るものであります

一言述べて記念日に寄する言葉と致します

……を完封し、支那民衆に變換の手を差延べ、今や粤東の地は、凡ゆる部門に於て建設的時代に入り、安居樂業の王土を現出し、民衆は當方面出身在外華僑五百万と共に、皇軍治下の善政を謳歌し、鼓腹擊壤、誠に美はしい日支合作の福音を享して居るのは誠に御同慶の至りであります、是れ偏へに御稜威の然らしむる所であるのは勿論我が精銳無比なる皇軍の偉大なる業績であつて……

今や日、獨、伊樞軸の結束は益々固く、樞軸國は世界人類恒久の平和と道義に立脚した諸民族の福祉を招來すべく勇往邁進しつつあります、此の正義の旗幟の前に舊秩序と自由主義的思想の總てが世紀の大崩壞を告げる日も遠くはあるまいと信じます、然し此の間に處して帝國の立場は改めて說く迄もなく、重且大であると共に、極めて微妙なものがあります、從つて我等は全居留民と共に此際大いに自粛自戒、帝國の意圖する東亞新秩序建設の大義に則り、大いに奮起の誠を固め、各自職域奉公の誠を致さんことを誓ふ次第であります

今や南京中央政權は着々とその巨步を進ばし、日支間永遠和平の基礎の上に、堂々として其の政務を遂行して居り、現地中國側各種機關亦滾刺たる氣魄を以て、共存共榮の旗幟の下に、人民の康寧を謀りつつあるのでありまして、現地では本日から數日間に亘つて、潮汕地區更生二周年を祝賀すべく種々の催しが行はれ、今朝の記念式典を皮切りとして、更生汕頭を讃仰し、明朗潮汕を謳ふ歡喜の聲は、巷々に滿ち〳〵て居るのであります

……は占領地區の擴大に因り益々發展して行き、產業の興隆は決定的に本格化して來るものと認められます、その暁には、從來より一層多くの人と物とを必要とする譯で、茲に臺灣からの御後援に俟つ所益々大なるものがあると確信せられます、と……の機會に於て臺灣官民各位に深甚の謝意を表すると共に、今後共に何分の御後援を御願ひして已まない次第であります

以上簡單乍ら所懷を述べまして祝辭に代へる次第であります

昭和十六年六月二十一日

在汕頭領事　高井末彦

本島人同胞パン　コツクで祝賀會

【バンコツク】若林本社特派員發】十七日の第四十六回臺灣始政記念日、南方第一線を承つて炎熱の地に活躍する本島人同胞は午前七時半から日本人會において祝賀會を開催した、參集した本島人約六十名、來賓として淺田總領事、谷日本人會長ほか折から來盤中の總督府下村保安課長も出席、先づ遙かに宮城を拜して國運の隆昌を祈願した後、淺田總領事及び谷會長祝辭の挨拶あり、淺田總領事起つて

時局下國際關係逼迫の秋日泰關係また大いに緊密化を見つつあるは欣快である、南方の最前線に立つ國民として日ふ本島人諸君は滅私奉公の赤誠を以て新經濟圏確立に協力邁進されよ

と祝辭を述べ、又下村保安課長は南支における皇民奉公會の誕生より新た說いて祝辭とし、最後に谷日本人會長の音頭にて萬歲を三唱、午前九時盛況のうちに祝賀會を閉ぢた

會と催物

送別圍碁會　臺北圍碁倶樂部では二十二日（日曜）午前九時半から倶樂部員小坂田幸治氏の送別圍碁會を開催する由、當日は會費金貳圓（中食付）

今夕の臺北音樂會　七時半より新公園音樂堂で臺北吹奏樂團指揮による臺北音樂會ではこの二三日降り續いた雨に新公園の樹木はきれいに洗ひ清められすがすがしい綠の陰で今夕も左の八曲目が演奏される

一、行進曲　少年航空兵

二、西班牙小夜曲　ラ・マノラ

三、軍歌集　遂げよ聖戰

四、コルネット獨奏ポルカ　魔法の喇叭

五、描寫曲　夜の警報

休憩

六、長唄　越後獅子

七、狂想曲　チロコレート兵隊

八、行進曲　勝利の父

新刊紹介

▲映畫評論（第六號）　日本映畫のために（飯島正）國家の映畫に對する公的檢閲（岡田眞吉）映畫の本質のファンタジア（デイームス・テイラー）及び映畫と衛生面談會、映畫時評、作品月評等を滿載、シナリオは愛の一家（飯岡謙之助）〇……

▲自動車燃料（……）　今日燃料は石油、人造石油、代用燃料……

商況（廿一日）

株式　一般に小戻し商狀

兜町前場況　【東京發同盟】……アメリカの硬化がたし……一服を見た後漸く……

東京短期前場

東京長期前場

東京短期日歩

東京銀行實株

東京國債前場

大阪短期前場

大阪短期日歩

大阪短期跡氣配

大阪綿布前場

橫濱生絲前場

株式社債

爲替

棉花

生絲

佐藤ライトの
梅肉エキス

大腸加答兒、下痢腹痛、食傷、水あたり、胃腸等に斯く有效成分を化學的に抽出して本劑を服用し速かに病苦を脱せられよ
注意　一般市場にあるのにあらざる類似品と同視する勿れ、御買求の節は特に御注意を乞ふ
定價　一圓　二圓　一圓五十錢
全國各藥店百貨店にあり
大阪市天王寺區細工谷町
佐藤ライト商會

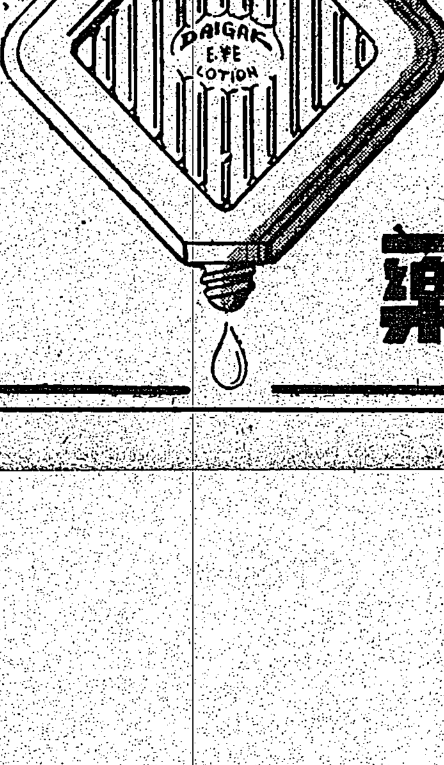
慶祝　潮汕更生二周年（不同順序）

一般輸移出入貿易　西村洋行　汕頭市外馬路三四號　電話一六五二番
大倉洋行　汕頭市至平路四二號　電話一二二二番
一般輸移出入貿易　華豐洋行　汕頭市至平路六〇號　電話一六二七番
一般輸移出入貿易　華南洋行　李江成　汕頭市永安街七八四番
海陸產物輸移出入貿易　神戶海陸產貿易株式會社汕頭出張所　汕頭市昇平路一二五一七番
岳南材木洋行　汕頭市昇平路一八五號　電話一三四番
一般輸移出入貿易　三和洋行　許壬癸　汕頭市永和街一五七番
一般輸移出入貿易組　裕成洋行　行主　黃坤　汕頭市永和街九〇番
一般輸移出入貿易　德勝洋行　蔡德勝　汕頭市永和街九九六二番
一般輸移出入貿易　三鎌洋行　汕頭市永泰路二六號　電話一八三〇番
一般輸移出入貿易　五華公司　濱百市　汕頭市永和街七五五番
一般輸移出入貿易　榮興洋行　林斗　汕頭市永安街二八八番
一般輸移出入貿易　板橋洋行　汕頭市永安街六四號　電話一二七二番
一般輸移出入貿易　景祥洋行　汕頭市福平路滂旁三號　電話一四二四番
大和中洋行　汕頭市昇平路二九號　電話一八八七番
一般輸移出入貿易　協和洋行　汕頭市永泰街三號　電話一七五八番
貿易商　東和洋行　汕頭市永安街七四號　電話一四〇六〇番
本店　廈門　陳木土　新發洋行支店　汕頭市永和街……
一般輸移出入貿易　德和洋行　汕頭市永和街五九號　電話一〇八〇番
貿易商　株式會社新興商行汕頭支店　許江龍　汕頭市永興街五四八九五番
汕頭花壇　平木源喜　汕頭市至平路八〇四八番
一般輸移出入貿易　大福公司　林滾　汕頭市安平路九六三番
食料品雜貨御用達商　野崎商會　汕頭市……五六一番
兵站指定旅館　汕頭ホテル　汕頭市永平路十六號　電話一八八二番
土木建設請負業　設計監督部特設　山之内組　汕頭市外馬路一〇四〇番
一般輸移出入貿易　高陽洋行　許煜元　汕頭市安平路一九一番
一般輸移出入貿易　陳太和洋行　陳春亭　汕頭市永安街九三八番
一般輸移出入貿易　宏昌洋行　上林生憲　汕頭市老媽宮街九八〇番
一般輸移出入貿易　捷昇洋行　林墩　汕頭市永興街七三番
一般輸移出入貿易　日光商行　汕頭市永泰街七八五番
竹乃家　汕頭市居平路十號　電話一五六二番
南興公司煙草配給所　一般食料品雜貨　百宜洋行　汕頭市……八八一番
義和洋行　汕頭市永安街六八號　電話一一七七番
軍指定印刷工場　小塚洋行　汕頭市中山路一八五番
高級喫茶　白木喫茶店　主人　原田タマキ　汕頭市……
一般輸移出入貿易　大丸公司　汕頭市外馬路二六一號　電話一五三〇（呼出）

理學校卒業仕品あり
强腦强精
DA臟器ホルモン綜合劑
オオコンリオン
増血强壯　DA臟器ホルモン綜合劑　コンリオン　姙產婦・小兒用
オオコンリオンの服用は全身の抵抗力が昂まって風邪にも負けず、肺炎、結核にも罹り難い丈夫な體質になるのみならず、常に青年時代の若さと元氣を保持していつも元氣で（ハリキッテ）明朗生活が出來ます。
こんな方は　中年後氣力の衰退、發育の不良、疲勞しやすい方、風邪にかゝりやすい方に病弱の方は是非御試用を
定價　四十五粒…一圓五十錢　百粒…三圓　三百粒…八圓　五百粒…十三圓
臺北市京町一丁目　日本水產醫藥研究所臺灣支所

すばらしいキキメ
菊牡丹
かとり線香
登錄商標
株式會社　辰馬商會
台北・台中・台南
製造元　神戸　長岡駆虫剤製造株式會社

蠅、南京虫、蚊はモチロン、あらゆる害虫はインピレスの一吹きで忽ち絶滅！
超强力殺虫劑
專賣特許　蠅必立　インピレス



ガラスでもないセルロイドでもない　弾力性の柔軟ガラス製
輕くて丈夫で透明で弾力性で落しても割れず
日くスプリング容器！
そのスマートさ　便利さ點しよさ
これこそ理想的點眼容器
一個二十錢（各藥店にあり）
中味の分量は從來の瓶と同量
從來の瓶入もあり　二十錢・三十錢・五十錢　小兒用二十錢
慰問袋に　新容器は柔軟ガラス製ですから、他の固い物と詰め合せても割れる心配がありません。又寒い所で中の目藥は凍つても、容器は割れません。大陸の砂ほこりで目を痛めてゐる兵隊さんに早く送つてあげて下さい。
大阪北浜　參天堂株式會社
新容器は平型ですから、ポケットに入れて嵩ばらず携帶に便利です
事務所に工場に！目を使ふ人は常に御使用下さい目はいつも健かでせう
鏡台や洗面所や帯の間に、ハンドバッグにも！貴女のお目も常に澄んだ美しさに輝くでせう
キクキヨクにスマシ
大學目藥
FSD-713

曉の町 199

武田麟太郎作　林唯一畫

新しき生へ（一）

いつまでも旅をつづけられる體でもなかつた。と云つて、東京へ歸る氣持にもなれず、中途から一行に追ひついたおきんは、一座と共に果てしない田舍廻りをつづけてゐるのだ。

釜石から盛岡へ、そして、青森、函館から北海道へ渡つたのは五月も半ばを越えてゐたが、まだ此處の氣候は薄ら寒い程であつた。

一種の植民地氣質がまだ殘つてゐるのであらうか、大向ふの人氣は荒々しく、とんで來る彌次や掛け聲も猛烈であつたが、興行の成績は決して惡くはなかつた。

「――この調子で行けば、北海道を一廻りしてゐる中に、ちよいとした小金を握つて、東京へ舞ひ戻れるかも知らないぜ」

さうした希望が彼等の胸に萌いて來た。おきんもひそかに出產の時日を指折つてみて、ぜひさうありたいと思つた。然し、彼女の願ひも意味ないものにして了ふやうな日が來た。暦の上ではもう初夏だと云ふのに、まだ寒い冬がそのままに殘つてゐる様な氣候に災ひされたのか、無理して出てゐた舞臺で卒倒したおきんは、そのまま胎兒を流產して了つたのだ。

「――あんなに赤ん坊の出來るのを樂しみにしてゐたのに……」

夜中に呼び出された醫者と看護婦が處置をして歸つて行くのを見送つた一座の者達は囁きあつた。おきんは泣きたかつた。しかし、それも自由にならぬ身體であつた。

一行はここを打ち上げると、少し飛んで旭川に行く筈であつた。思ひの外衰弱してゐたおきんは一行の親切によつて、町のかなり大きな婦人科の病院にあづけられることになつた。

「――旅の先き先きからたよりをよこすからね」

お大事にと、一座は發つて行つた。そして約束した通り、毎日のやうに侘びしい病室へ手紙は屆けられたし、看護婦たちも始終遊びに來てくれるので病院生活も比較的樂しいものであつた。

誰もゐない時は、おきんは殆ど眠つてばかりゐた。が、それでも時々は故郷の北海道や奥林のことを思ひ出したりした。默つて逃げ出した彼女の後を追つて來、田舍町の宿屋で一晩中泣かんばかりにして彼女の翻意をうながした奥林の姿を考へると、手を合せておがみたい樣ではあつたが矢張り握り切つて來てよかつたと思ふのだつた。

ある日、ふと東京の新聞を見てゐて、おやと目を惹きつけられた記事は大阪の實業家栗原家の慶事として、山崎と瑠璃子の婚約を報じてゐた。

あの若者たちはすぐその小さな寫眞で分つた。

――あ、これであの方もよかつた。

よかつた、よかつたと繰返して彼のために祝つた。

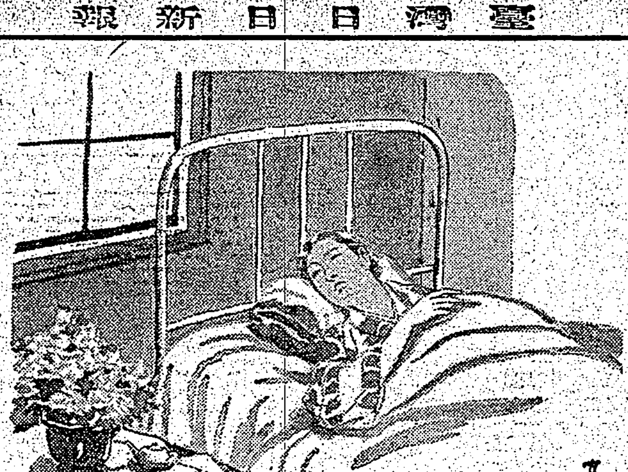
――唯、あの人の子を孕んでゐたことを知らして上げたかつた。

さうも考へたが、いやいや、知らして何にならうぞと、思ひ返すのであつた。

最後の診察も通過して、いよいよ病院を出ることになつた。

――これで、今迄の過去はみんな消えて了つたのだ。

寂しさをふりすてるやうに、きつと必死へしたおきんは、旅藝人とのとの〈へ乍らこれからの自分の新しい旅路を思ふのだつた。



黄昏（國展）　一立　五一國臣

臺灣歌壇の動向

南邦夫

すべての物は動く、臺灣の歌壇のみが惡さのために眠つてゐるとは思はれない、確かに動きつつある、又さうでなくてはならない、ただその動き方、方向が問題である、しかしこの點に就いて僕は甚だ樂觀的である、臺灣歌壇の水は決して易きについてゐないことは斷言出來ると思ふからである

○

臺灣の歌壇には、網りかへつて僞性だけで歌を作つてゐる様な大家ぶつた人はひとりも居ない、何よりも幸ひである

その反面に新進氣鋭の意氣に燃えた新人が乏しいかに見える、これは甚だ寂しいことである、しかし張り切つて烈々として蠢動せんとする兆は既に十分現はれ始めてゐる、この點に就いても甚だ僕は樂觀的である

○

臺灣の歌壇には内地のそれに見られる様な派閥的な對立はない、ボス的存在もない、非常に心强いことである、將來とも、この島に封建的殘存物を生き返らしてはならないと思ふ

○

臺灣に住んでゐる歌人が歌を作れば、それは立派な臺灣の短歌でなくてはならない筈である、その上で臺灣的な短歌とか、短歌の地方性とかいふ事が問題にされなくてはならない、さうでなくて、ただこの臺灣的とか、地方性といふ言葉だけを抽象して前面に押し出して來ると變な事になつてしまふ

この面だけをきり離して强調することは結局「自分は一個歌詠みなのだ」といふ落語のさげの様な滑稽な結果になる

○

しかし己の姿をつきとめることは短歌の持つ一つの大きな役割である

何のために短歌を作るか、詮じつめれば自分のためにである、日に新なる自己を見出すためにである

短歌とは最も忠實に自己を語る文學である

も早今日では自己とは社會生活から游離した單なる個人であるとは許されない、臺灣居民としての個人であり、日本臣民としての個人である

三十一字の中に自己を語らざるを得ない短歌とは、さう生やさしいものではない

○

短歌を作ることは卽ち短歌を愛することである、愛のない處から何も生れては來ない、ただ愛し方にも色々あることを考へて見る必要はある、猫可愛がりに可愛がることが本當に愛する道ではないことは明かである

○

短歌の批評も同様である

愛のない批評は誹謗に過ぎない

○

臺灣の歌壇で最も缺乏してゐるものは批評であると思ふ、これは甚だ遺憾である

技巧的な技術的な、或は文法的な批評はある、これも大いに必要ではあらう、しかし短歌を通して作者の人物をつき、その人間性の底までつきつめた批評は極めて寥々たるものである、表面に現はれてゐる文字だけではなく、その作者の持つ短歌以前のものに喰ひ下つて、彼は何故この短歌を作らざるを得なかつたかといふ點まで究明する親切さが大いに望ましい

○

臺灣で生れた短歌をどこ迄も正しく大きく伸ばして行くことは短歌を本當に愛する人々の重大な責務であらねばならない

家庭醫學

眼の休養

最近子供の近視が增加の傾向にあります、近視は腺病質虚弱の子供が罹り易いと云はれ、又眼の酷使もその原因になりますから、適度の休養に心掛けねばなりません、卽ち長時間勉强や作業を續けぬやう途中で疲れない遊戲をしたり、家事のお手傳ひをさせ眼を使はせぬやうにします、勉强の後すぐ娯樂雜誌等に夢中になる子供がありますが、あれは頭は休めても眼は疲れますから注意してやらねばなりません

漢詩 魏清德選

航空詞　王雲滄

軍作羊城客。匆々過半年。不知波浪險。穩自白雲邊。

大氣茫々裡。遲山失遠青。此身疑羽化。俯首瞰滄溟。

一葉隨風翼。凌風上太虛。羈懷遊子恨。無翅倚閶闔。

鄭比賓命吟　本宮三香

接勝留題興倍深。結交何事重黃金。誰知談々比翔奇。皆是悠々行路心。宰相經綸遐邇旨。國民負責客官箴。奉公誠意君同證。慷慨聊爲賦命吟。

紅頭嶼

大橋平次郎

紅頭嶼と云つても何處にあるか知らない人さへある。臺東から東南××海里、黒潮躍る太平洋上の累積大の島、一七〇〇名のヤミ族を擁護する桃源郷。此種族は原始に於て馬來系であると云はれてゐる。昨年の今頃、二十日間の研究調査に彼等の生活に親しく接することが出來た。山のもの海のものをあさつて、年中裸りなき純朴生活、わけても酒、煙草を絶對に嗜まない人種、水芋と飛魚、これが彼等の主食物。南京蟲、蚤蝨、マラリヤ、肺病等に惱まされ乍ら當時、部落から部落の調査は容易でなかつた。しかも暗風の後め帰還豫定が延びて食物の缺乏、陰鬱は八噸の漁船紀洲丸に救はれたが、舟は木の葉の如く翻弄され、やつと新港にたどりついた。かうした研究には、總て限界が伴ふが、斯樣な世界的の奇種な種族の生活様式に、文化が浸潤せぬやう良く保存したいと云ふ念願は、獨り當局者丈の持つ勝手な考へではなからう（筆者は醫學校大阪醫院外科醫長）

お國名物　金ぷら

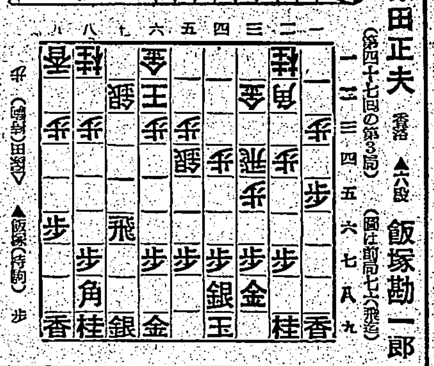
東京名物は天ぷらだといふが、これの兄弟分に金ぷらがある

金ぷらとは蕎麥の意味で衣に溶いたものだなどといふ人があるが、それは誤りで、その相違は油にあるといふべきであらう。つまり、油そのものは色白いが、これは獨特に調用すれば黄金色の美しい色彩を呈する様な油を用ひたものが本來の金ぷらと呼ばれるべきである。これの起原は文化文政の頃と見られてゐるが、當時日本橋の蕎麥料理店「ともゑ」といふ店がこの揚油を使つたのが始めてとされてゐる。つまり金ぷら料理店に於ては、天ぷらに胡麻油を用ひたのでは、臭くすぶつて困る。そこで何か方法はないものかと案じた結果狙つたのがこの美しくあがる揚油へ氣がついたのがその動機であるといふ

二十四棋士勝繼戰

△八段　塚田正夫　香落　▲六段　飯塚勘一郎

（第四十七回の第３局）（圖は前局七六（飛迄））



△六四步(15分)　▲八六步(6分)
△六三銀引(6分)　▲七八銀(4分)
△七二玉(5分)　▲八五步(39分)
△八二玉(2分)　▲三九玉(6分)
△二五步(8分)　▲九五步(10分)
△四三金(4分)　▲七七桂(6分)
△五四金(46分)

手（前掲圖）田塚▽　▲飯塚（持駒）歩

指手四十一手　持時間各九時間
消費時間　△二時間五十二分　▲三時間四十分

香落の弱點

觀戰記　八段　金易二郎

黒潮に乘つて……といふ言葉がある駒落戰で上手となつた場合は常にこの心得が必要で、駒落の戰がある以上自ら挑戰すれば必ず無理が生じ不利を招く原因となるのは必定だ、下手の攻めに乘つて駒を捌き、虚に向つて進擊することが大功！

塚田八段の△六四步は、五四銀と出た時からの豫定で、爾次、銀矢倉の築城、敵の攻勢を迎へ擊たんの意圖が窺はれる

と、駒音も高く飯塚六段は▲八六步と突き出し、續いて▲七八銀七筋飛車の攻擊態勢は沼々として活氣を呈して來る、强腕をもつて鳴る飯塚氏の七筋飛車は上手の最も警戒とする處であるし、之が卽ち香落の弱點とでも言はうか！上手は斯の如き攻擊態勢は採り得ないとされてゐる

將棋大成會、奥の一室で行はれたこの一戰も剄一剄、緊張の空氣が漂ひそめて……

と、塚田八段は内身に燃え上がらんとする闘志を鎮めて△七二玉の陣形に出れば、飯塚六段、三十九分の熟考から、敢然▲八五步と突き出して行つた、氏の感想に、

「八五步は何となく伸び過ぎの様に思はれたが、七七桂の對策があるから容易に取れない」と語つてゐる。それと、七八銀の行動を今暫く保留して模樣を見ようといふのが氏の肚だと思ふ

戰陣を避けて△八二玉▲三九玉は至當

塚田八段の二五步は後に二四飛から二筋襲撃の含みを兼ねてゐるが、茲で九四步と受けて置く手はなかつたか？若し敵八七銀なら七四步、八六銀、七三銀で端は欲かつて居ると思ふか……『よし惡くは別として……』と呟やいて、

▲九五步と突越した飯塚氏の顏に快心の色を見た、駒が受けに片寄り過ぎる事を懸念しながら塚田八段は△五四金と立つ、果して、最初の烽火はいづれに上るだらう？

木村名人講評　上手六四步、六三銀は手筋だが七一玉と頃く九四步と突きたい、なほ此處の步も不急の一手、ここでも九四步である、次で五四金も早い、此處は七四步と動靜を觀望すべきだ

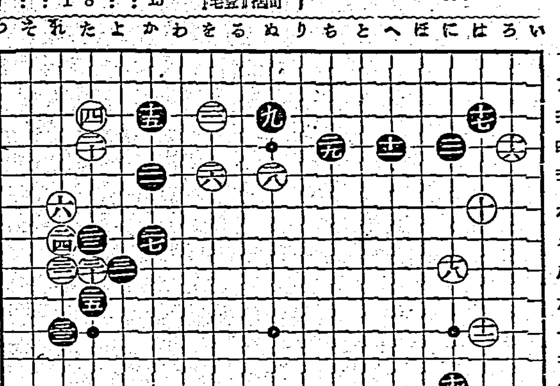
下手九五步は急所である、從つてもつと早く突張るべき步である、殊に攻めの困難な現狀では、位勝が今後の作戰に重大な影響を及ぼす

本社主催　日本棋院　十人拔大碁戰

第十一局の五

先相先　六段　藤澤庫之助（二目半出し）
六段　福田正義

持時間各十時間　一分以內切捨
消費時間　黒…　白…



●二三た七13　○二四れ七…　●二五た九…　○二六を五8　●二七か七1　○二八ぬ五…　●二九ち四…　○三十た八7　●三一よ八…　○三二れ八…　●三三れ十13　○三四る五19　●三五わ六4　○三六は十7

突如、爆彈投下

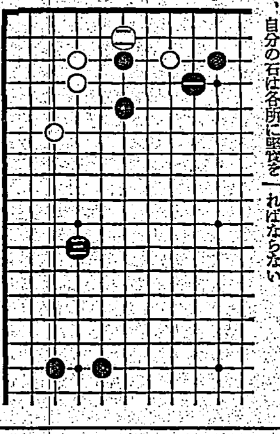
評解　七段　岩本薫

◇白二二の打込みに對して黒が强ひて押さへつけても效果なしと見て、二三以下三三までの手段に出たのは、福田氏の趣向であるが此處でもやはり參考圖の如く、輕く打つてゐる手段が考へられる、卽ち黒一とコスンで白を二と立らせ、左邊を三と開いてゐて惡くない姿勢ではなからうか

◇一本三四、三五を交換して置いて三六と打つていつたあたり、如何にも藤澤君らしい强硬手段である

【觀戰記】藤澤君如何に强しといへども、かうガッチリ構へて來ずる隙もあるまいとばたりな、二九三五の手法であるが、藤澤君が三六の一石を投ずるに及んで、黒の陣營に何となく臨然たるもの感ぜられる、正に直擊彈の脅威である

岩本七段が前に、黒一九を「へノ十四」に立つて置きたいと評したのも此白三六を嫌つてのことである、なる程ど打たれて見ると、單に「にノ十三」と押さへてゐるのも氣がきかないし「はノ十二」と押す位のものかもしれないが、それでも此黒石がさつぱり厚くならないやうな氣がして面白くないかね〳〵藤澤君の手法といふものが喧傳されてゐるのは正にこれであつて、自分の石は各所に堅陣を極めてゐて、敵に一寸でも弱點があれば、時機を見て必ずとれを衝いてゆく、呉七段の如く天才的輕妙な手法が見られない代りに相手にとつては「これはナマやさしい敵ではない」といつた質感が腦天へヅンと突當つて來るのである、正に玄能か何か、鈍器を以てくらはされる感じだと誰かが云つた、それにしてもこの三六を打つべく遙かに三四を打つて置いたり、二六、一八方面の布陣、さらに「よノ九」あたりの斷點を睨んで、遙く七、十九の二石を脅やかしてゐるあたり、相當の興味と云はなければならない



◇參考圖

今晚の映畫

■大世界館　每正午上映
1 日本海外ニュース　午後零〇〇分
2 まぼろし城 第一部飛彈の渦潮 第二部死の旋風　一時二分
3 第三部木曾の凱歌　一〇五分
4　四五分

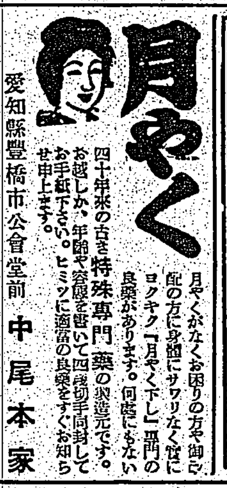
■臺劇　每正午上映
1 女人新生　午後零〇〇分
2 日本ニュース　一〇四分
3 花は偽らず　一〇四分

■芳乃館　每正午上映
1 舞姫の秘密　午後零〇〇分
2 日本・海外ニュース　一〇〇六分
3 相寄る魂　一〇二六分
4 元祿女大名　五時五〇分

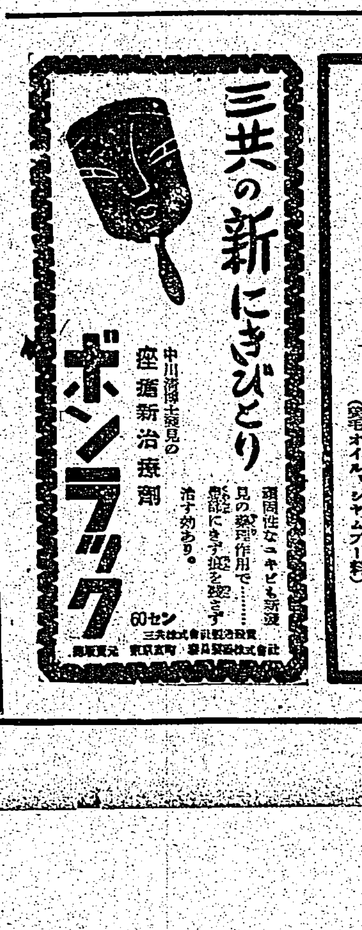
■新世界館　每正午上映
1 忠孝一筋道　午後零〇〇分
2 大江戸百鬼　一時四〇分
3 時代の狼火　一〇四〇分

■國際館　每正午上映
1 日本ニュース　午後零〇〇分
2 防疫陣に働く人々　一時一〇分
3 魔獸タイガー　一時二六分
4 人生は六十一から　一〇四六分

■第二世界館　每正午上映
1 とこもの一日　午後零〇〇分
2 虎造の荒神山　一時一五分
3 胸に咲く花　一〇三一分



特許　意匠　商標　實用新案
出願取扱　滿洲國特許意匠商標
東京市丸ノ内三菱廿一號館
中松特許法律事務所
所主　中松盛雄
電話丸ノ内（23）一九一〇・一五〇〇
大阪出張所　大阪市今橋商工會館ビル



臺灣日日新報
本日夕刊共八頁

汪院長歸國前に 日華兩國共同聲明
東亞新建設決意闡明

【東京發同盟】國民政府行政院長汪精衞氏は來朝以來近衞首相、平沼內相、松岡外相、東條陸相、及川海相等政府當局首腦と膝を交へて懇談、日華兩國の提携は益〻強化されたが汪氏が來る廿五日其の重大使命を果して南京歸國の途に就くに先立ち日華兩國政府は廿三、四日頃共同聲明を發して日華兩國は善鄰友好、共同防共、經濟提攜の所謂近衞三原則を基本として東亞新秩序建設に邁進する決意を中外に闡明する事になつた、この共同聲明は近衞首相並びに汪行政院長の名の下に發せられる筈で日華の國交に不滅の一頁を加へる歷史的聲明として注目される

食糧增產の體制整備
親任奉告 參拜西下 井野農相車中談

井野農相

【小田原發同盟】井野農相は伊勢神宮へ親任奉告參拜のため二十一日午後十時三十五分東京驛發西下したが車中食糧增產方策、米價問題、水產新體制の確立等につき大要左の如き談話を試みた

米價問題 米價政策については……

水產新體制の構想 ……

代用食糧の國家管理強化 ……

農林漁業團體の整理強化 ……

不變以て變に對應
東亞新建設に確信
汪國府主席所信を披瀝

汪國府主席

【東京發同盟】國民政府主席汪精衞氏は二十一日午後三時より麻布狸穴の中華民國大使館において外務記者團と會見、約一時間に亘り日支間の重要問題に就き一問一答を交した、汪院長と外務記者團との一問一答內容左の如し

問　現下の國際情勢に對する閣下の御所見、並に東亞復興の具體的な御抱負を承りたい

答　私の考へとしては現在の國際情勢は非常に急激に變化しつゝある、この急激な變化に對し我々は「不變を以て變に對應する」方針で行きたいと思ふ……

燃ゆるが如き團結
きのふ大日本興亞同盟創立發起人會
近衞總裁、大精神を說く

【東京發同盟】大日本興亞同盟創立發起人會は二十一日正午帝國ホテルに開催……

近衞總裁挨拶要旨

國府の經濟顧問
青木元藏相等五氏を派遣

元大藏大臣　青木一男
貴族院議員　犬養健
……　福田耕
……　雜賀一理平
……　橋井眞

海鷲恩施を爆擊

【〇〇基地二十一日發同盟】……

綱領等決定
七月六日に結成式

【東京發同盟】……

臺灣統治輝く結實
皇民錬成の大展開
和知臺灣軍參謀長談

志願兵制度の實施

……

宋國防會長辭職か
國共相剋の醜態に嫌氣
反目日に深刻

【香港二十日發同盟】……

石炭統制會設立
要綱成案

【東京發同盟】……

印度洋哨戒
米飛行艇隊新嘉坡着

【シンガポール二十日發同盟】……

米海軍主力艦
二隻建造開始
五萬八千噸級

【ニューヨーク二十八日發同盟】……

瑞西、瑞典は米の凍結から免除

滿洲銑鐵補償
制度を實施

米、外地八時間勞働制を一時撤廢

農林省課長級異動

人事

今日の府報

日本號
今大阪市七萬隣組の常會で話題に上つてゐる消火彈
地方代理店募集！（カタログ進呈）
合資會社 日本消火器製作所

藤森良藏 藤森良夫 先生共著
滿天下の讀者待望裡に下卷愈々發賣さる!!
しくは算數 母の心構 考へ方と解き方
定價上下各一圓五十錢

一代の數學教育者が畢生の心血を注いで述作せる
國民學校新算數書の科學的解剖書

藤森良夫先生著
近刊豫告 步初論數函素複等初 はじ
十月下旬發賣 定價2圓50錢
注意 洩れなく希望者に御頒ちしたいと思ひますから、今直ぐ書店なり、振替東京三六六一〇なりへ御申込下さい

學習用 受驗には 考へ方叢書で
藤森先生又子害心協力の結晶
精說代數學考へ方
要說代數學考へ方
改訂三角法考へ方
要說三角法考へ方
精說幾何學考へ方
要說幾何學考へ方
代數初步考へ方
幾何初步考へ方
百萬圓の數學
國文考へ方
漢文考へ方
作文考へ方
塚本哲三先生著
考へ方編輯部編
現代受驗生讀本
考へ方「特色版」

好評嘖々たる 高數大衆化叢書
藤森良夫先生の五部作
順列組合せ確率考へ方
解析幾何考へ方
微分學考へ方
積分學考へ方
微分方程式考へ方
經濟の數理
中野秀五郎博士著
リーマン積分よりルベツク積分へ
岩田至康先生著
射影幾何學入門

東京神田一ツ橋
考へ方研究社
振替東京36610

社説

土國遂に英側陣營を離脱
英近東勢力の沒落の兆濃化

一

今回アンカラに於て成立を見た獨土友好條約は歐洲第二次戰今や二年に垂んとし戰火遂に近東に重大波紋を投じつゝある折柄、それは單に獨土關係の新展開たるに止まらず實に歐洲戰局に重大なる影響を及ぼすべく劃期的意義を持つものと觀られる。獨英開戰以來如何ならずして土耳古は昭和十四年十月十九日アンカラに於て英佛との間に相互援助條約を締結したのであり此の英佛土三國同盟の成立は土耳古の反獨伊態度を明確にしたものであつたが歐洲戰爭進展の實際に於ては土耳古は斯かる親英陣營にありながら中立を保持し、バルカンに於ける獨伊對英國戰の展開に及んでも英國側豫定の策動にも拘らず遂に動かず英軍の敗退を傍觀して今日に至つたのであり、フオン・パーペン駐土獨大使の敏腕もさる事ながら土耳古が獨逸と友好條約を締結した事は遂に漸々好を降りて英陣營を離脱し樞軸陣營に參加せんとする旗幟を鮮明にしたものと解すべきであらう。

…

三

獨土友好條約成立は獨逸外交の歴史的勝利であり英國側にとつては、バルカン戰の全面的大敗北に匹敵すべき憂慮たる外交的大敗北である。土耳古の對獨友好條約は攻守同盟の如き直接の軍事的意義を有するものでなくても土耳古の地理的條件は擴大する歐洲戰局に實に甚大なる影響力を持つ。黒海と地中海とを繋ぐ國際交通の大動脈たるボスポラス及びダーダネルスの二海峽を握つてゐるといふ土耳古の地理上の位置が土耳古の國際的地位に特殊の重要性を與へ、さればこそ土耳古を繞る英、獨、ソ聯等の角逐が激烈に繰返される所以である…

…多大の心理的影響を及ぼすべきを看過し得ないのである。…のである。

北部 東部 一期七分搗米 最高小賣價格決る

けふ告示 二期作に比し各種共値上り

本年一期米を對象とする新竹、臺北兩州下並に臺東、花蓮港兩廳下の七分搗米最高小賣價格が米穀配給統制規則第二條に基き廿二日附第四百八十號で告示、即日實施される事となつたが基準となるべき改正小賣價格は十四瓩當り次表の如くである

	蓬萊米 圓	在來粳米 圓	丸糯米 圓	長糯米 圓
臺北州	三・六七	三・三三	三・八七	三・五二
新竹州	三・六三	三・二八	三・八三	三・四八
臺東廳	三・四二	三・一四	三・五九	三・二四
花蓮港廳	三・五二	三・二三	三・六九	三・四三

これを二期作米の價格と比較すると

州廳別	蓬萊米 圓	在來粳米 圓	丸糯米 圓	長糯米 圓
臺北州	〇・一八	〇・二〇	〇・一八	〇・一九
新竹州	〇・一八	〇・一九	〇・一九	〇・一九
臺東廳	〇・一三	〇・一六	〇・一四	〇・一六
花蓮港廳	〇・一三	〇・一四	〇・一四	〇・一五

以上の如く既報粗玄米に追隨して夫々値上りをみてゐる

廿九日官民關係者出發

本島産砂糖・パルプ 中南支市場擴充へ

督府今後の方針注目さる

…

對外 爲替水準引上か 再檢討要望昂まる

…

きのふ 全島輸組總會

…

躍進する臺灣經濟（六）

農業金融と公債消化

面目を一新した本島不動産金融

勸銀臺北支店長 西田太郎氏談

…

鳳梨と副産物工業

大陸前線にも罐詰從軍

臺灣合同鳳梨專務 小濱淨鑛氏談

…

臺北州物資調査下準備 關係官打合會

廿四日から月末迄 銀行營業時間延長

本島青果北支荷捌 臺灣青果事務所が一手引受

全島稅務課長 出張所長協議

帽子檢查員打合會

臺灣糖業大革新へ

第一回 糖業協議會 廿七日開催

日糖總會終了

總動員審議會可決二勅令案

銀行資金運用、製鐵顧令中改正

糖業研究會 廿七、八日例會

代燃車獎勵普及補助金

十七年度も本年度と同樣の豫定

臺南州 醬油釀造業を統合

きのふ統合打合會 州下を三大ブロツクに分割

奥田米穀局長 今日島内初巡視

臺銀人事小異動

東光株式總會

滿鐵社債二億圓發行

廿日の總會で附議決定

府農務課長上京

東光興業總會

商況（廿一日）

大阪長期前場

財界 株界

《北濱展望》

下痢に 即効を誇るワカ末は 胃腸ときつてもきれない仲となりました 強力殺菌整腸藥 ワカ末

大阪商船 南日本汽船 日本郵船 辰馬汽船 東亞海運 大連汽船 出帆

心の師父 日夏耿之介
事變の處理と國力 馬淵大佐 立野信之 富澤有爲男
かながきの鑑賞 吉澤義則
夏來る沼邊 富安風生
花葉因地 山内義雄
會津の山々 田部重治
理科と母 篠遠喜人
よい子の家庭 内山窓尚
正しい言葉遣ひ 德川義親
若い人 獅子文六
日本婦人の歌 齋藤茂吉
生活と信仰 柳田國男
女性風俗時評 尾崎士郎
銃後婦人に寄す 齋藤瀏
畫人としての富岡鐵齋 武者小路實篤
扁舟紀行 林芙美子
傑作短篇 艮人 大田洋子
獨乙短篇 盲人 パウル・エルンスト
住宅問題特輯
學生の生活
思ひ出の人々 三浦環
ピアノの話 野村光一
戰時生活の悩み 原祐三
事變の過去將來 清澤洌
夏の野菜料理 平しげ
七月の手藝 上田杉野
鶏園 横光利一
草を踏みて 石坂洋次郎
白い壁画 富澤有爲男
郷愁 藤澤桓夫
本日發賣 七月号 婦人公論（六十錢） 中央公論社

榕樹液汁採收人募集 野田昌彦商店

天皇陛下萬歲奉唱 軍旗の下盡忠誓ふ

志願兵制度實施感謝式

本島統治史に劃期的一頁をかきおろした特別志願兵制度が發表された日、二十一日の全島の感激は六百萬島民の感激をその儘反映してカラリと晴上り島民の

歡喜 は各市街庄の感激の波となつて現はれ、感へ天にも轟けよと島民の喝へる聲の感謝をこめて午後三時二十分、臺北新公園の感謝式場に於る長谷川總督の「天皇陛下萬歲」の高らかな――この日臺北では各戸國旗を掲揚

し、空下りから色とりどりの國旗を先頭に押立て新公園へ、新公園へと繰出すラッパに足並揃へて市民の力強くも逞しい響きだ。海行かば水漬く屍…

山行 かば草むす屍…大君のへにこそ死なめ、國民としての喜びを新たにした一死奉公せんと誓ふ決意が新公園の緑の芝生をうめた三萬餘人の胸に燃えさかる。

臨場 の下に進められた。臺本勤労の開式の辭に次で君が代奉唱…

降壇 すれば三萬餘の市民は粛然として聲なく只管に…藤村市長の式辭…

無敵 皇軍の…

藤村市長の式辭

島都の感謝式

寫眞(下)は藤村市長の式辭朗讀

一緒に出陣しよう

勤報青年隊、魁挺身隊員らを激勵

和知參謀長感激の言葉

されて午後四時すぎ相前後して臺灣軍司令部を訪問して感謝の意を表し和知參謀長から

諸君が待望の志願兵制が愈々來年から實施せられる事になつたのだから諸君は一般に魁けてどしどし志願して欲しい。そして立派な日本帝國の兵士としての覺悟を受ける名譽を擔ふ事を希望する。一朝事ある時には自分は諸君と共に皇國の楯として

出陣したいのだ、又都に留つては立派な日本帝國の臣民として生きて欲しい。將來大東亜共榮圏確立の要石として海外に雄飛するやうな場合にもその日本軍人としての魂を忘れさへしなければ必ず成すところはあるであらう

酒井武官涙の激勵

雨に勇し進軍喇叭

二十一日正午大稻埕市民に引率されて大稻埕の隊列…

基隆の感謝式

【基隆電話】基隆市に於ける志願兵制度施行感謝式は二十一日午後三時から高砂公園に於て各官衙…

志願兵制度への喜び

國民最大の光榮

皇民奉公會山本事務總長談

志願兵制度施行に際し本島民と至大の關係を持つ皇民奉公會では二十一日山本事務總長の左の如き談話を發表した

帝國軍人 の一員となる榮譽を擔ひ得るのである…

日本國民 は現に三大義務…

志願せん とする熱意と意氣…

熱意とを…

山本要港部司令官

二十七日急遽上京

視察、來北の豫定變更

山本馬公要港部司令官は去る十九日馬公發…

臺北二中寄宿舍に歡聲擧る

政治性なき奉公會

軍人も應分御奉公

本間軍司令官顧問就任の辭

皇民奉公運動に海の世話役

新參與酒井海軍武官談

講演會取止め

皇國の楯たる光榮

新竹州知事宮木廣大氏談

【新竹電話】特別志願兵制度實施に當り宮木新竹州知事は二十一日左の如き談話を發表した

重慶に大きな壓力

南方協會菊池理事談

今日の喜びを待つこと久し

生源寺氏談

臺北市内各所で記念講演會

きのふ皮切りに五日間

軍人の母となる喜び

酒專賣實施廿周年

來月一日 功勞者表彰、皇軍慰問を計畫

慶祝窓飾競技

國婦基隆分會でけふ將兵招待慰安會

新竹市の祝賀會打合

けふ商議で打合

臺北春競馬

大穴に初日賑ふ

傳染病御注意

衞生當局要望

けふの天氣

萬なかだち

ラヂオ

世界一のキンバイクレヨン

母 陳温氏定儀 …

南風原醫院 内科 小兒科 南風原朝保

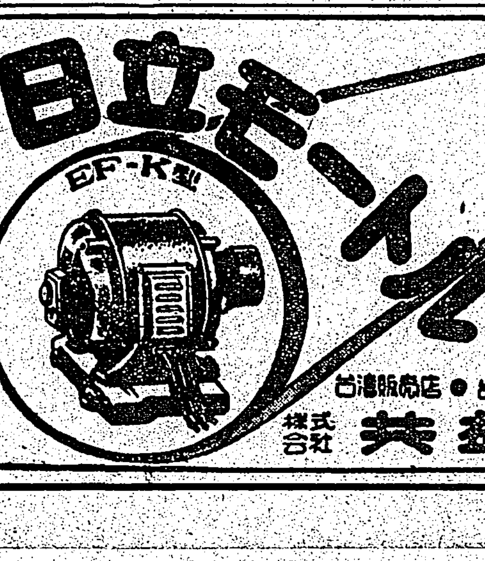
吉田內科醫院

募集 整備員 守衞 電話交換手

電話・債券

貸家 求貸家 結婚調 女中入用 女事務員 看護婦及見習 書生入用 幹部 菓子職人入用 配達人

風邪の妙藥 みの易くて胃を障碍せぬ 福福カゼ藥 南門藥局

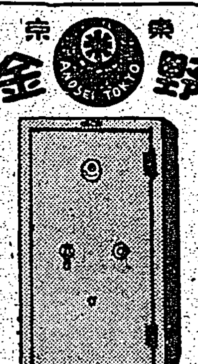


日立モートル EF-K型 台灣販賣店 台北・高雄 株式會社 共益社

口腔外科 平川齒科醫院

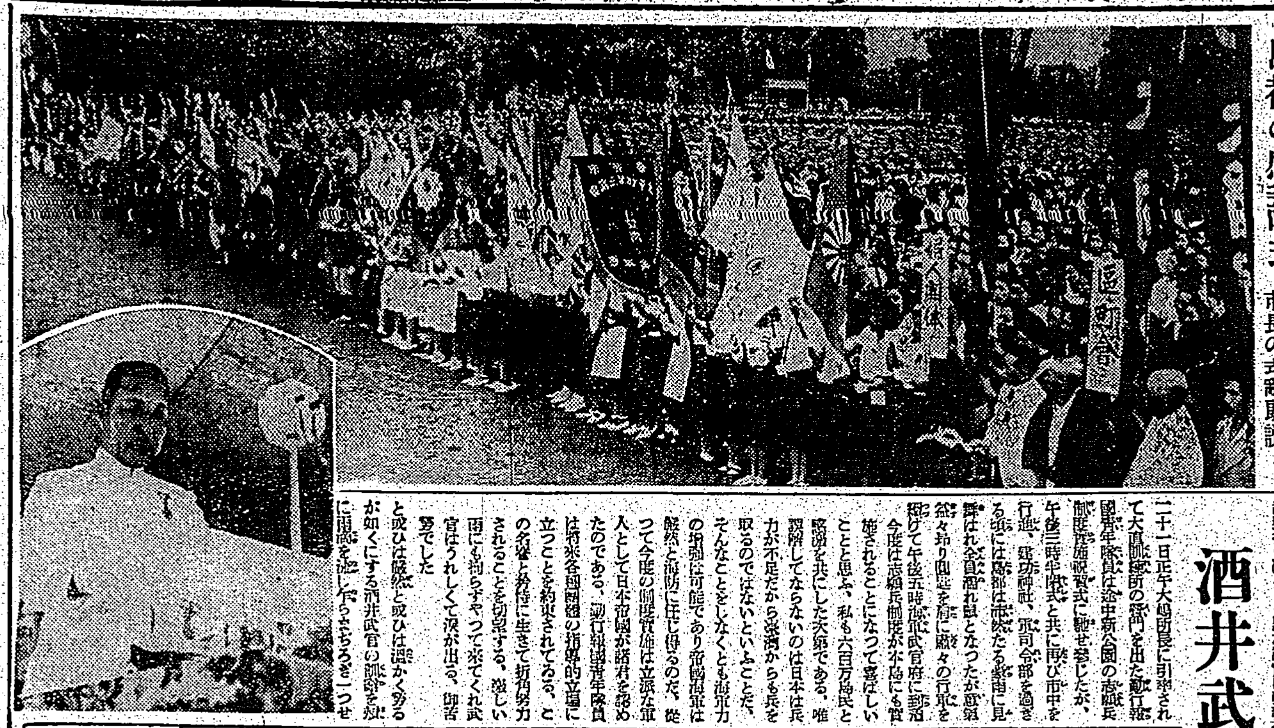
齒科 澁谷齒科醫院 臺北市新起町一ノ二

阿野金庫 絶對安全保管は この金庫に限る 台北 長谷川商行



臺北春競馬 六月 廿二日(日) 廿三日(月) 於北投新競馬場 主催 臺北州畜産會

榕樹液汁採收人募集 野田昌彥商店



各地綜合版

志願兵制度實施感謝式
本島人青年大衆喜びにふるへ参列
一死盡忠報國を誓合ふ

高雄

【高雄電話】六百萬島民多年の要望たる志願兵制度施行が發表された喜びの日期せずして湧き上る歡呼の怒濤の中に日本臣民たるの誇りも高く光榮ある帝國軍人の一員として旗の下に馳せ参じ「山行かば草むす屍」の盡忠報國精神をしつかと胸に刻んで輝かしき新秩序建設の第一線に力強い第一歩を踏み出した、そしてこの日あるを渇望して待つた本島人大衆が今ぞ迎へる歴史の日喜びにわき返つてゐる、高雄市では二十一日午後三時より市役所前廣場に於て感謝式を擧行…

勤行 …

決意 を固めて厳粛な氣分の中にも感激をこめた感謝式を終つたが引續き各青年團員…

屏東

【屏東電話】本島六百萬蒼生の待望久しい志願兵制度の實施が二十一日早朝發表を見るや六萬屏東市民に非常な感激を與へ市役所に於ては早くも祝賀行事を…

宜蘭

【宜蘭電話】…

青果座談會

【高雄電話】…

臺中

灼熱下に感激の式典

【臺中電話】本島統治史上に輝かしい一頁を飾る志願兵制度實施の報二十一日朝一度傳はるや臺中市内は各戸一齊に國旗を掲揚しくつきりと晴れ渡つた市上空には…

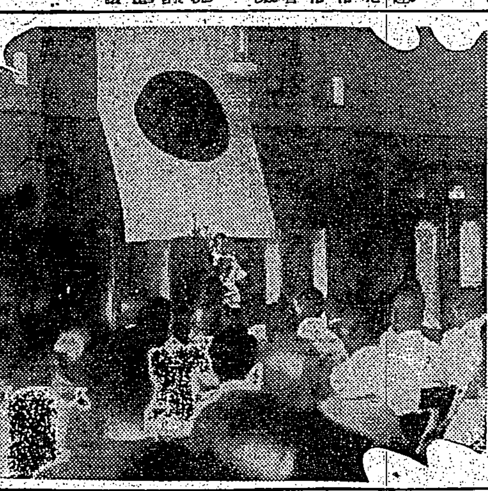
趣旨徹底講演會

嘉義

【嘉義電話】本島統治史上に新紀元を劃する…

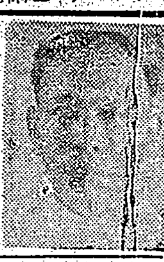
自家栽培蔬菜で白衣の勇士慰問

【屏東電話】…



高雄新驛竣工式 新高雄驛は愈々二十二日より南方圏の玄關として開通されるが既報の如く同驛竣工式は二十日午前十時より官民多數参列の下に三等待合室で盛大に擧行された(島民は感激を代表する坂口高雄州知事)

慶びに湧く島民大衆



今回臺灣の志願兵制度實施は本島統治上劃期的な制度であつて衷心

慶賀に堪へない、これ偏へに一視同仁の聖慮の賜

鴻大な聖恩に感佩
殉國の念を固めよ
臺中州知事 森田俊介氏談

…

この感激忘れず
永遠に奮起せよ
臺中州會議員 陳炘氏談

【臺中電話】待望の志願兵制度が實施されました事は一つは本島人が皇民としての資質…

今迄の理想が現實
今こそ起つべき秋
歸還鼎業義勇團員 林錫元君談

…

日本國民として
お役に立つ欣び
林獻堂氏喜びを語る

…

皇民奉公會 臺中州支部結成式
二十四日公會堂で擧行

【臺中電話】去る二十日午後一時から市民館に於て開催された…

お題目稱へるより
實踐が肝要
廿日の參與會で要望

【臺中電話】臺中州に於ける皇民奉公會參與會は二十日午後一時から市民館にて開催…

愛婦會員五千名
モンペ姿で奉仕作業
臺南州 聖地建設作業進む

【臺中電話】忠靈塔建設奉仕作業に…

床し人命救助
臺中商專生の美擧

青年團幹部講習會

桃園消防組長決定

皇民錬成座談會
臺中州下の古老參會し

【臺中電話】…

臺南

南部卓球大會

【臺南電話】…

老春 (120)
川口松太郎作
伊勢良夫畫

女人禁制(十)

…

興亞の礎 保險で築け
富國徴兵

夏の女性生活
夏のニュースタイル二五〇種發表 型が斬新で解説がトテモ丁寧だ これこそ日本人のスタイルブックだと各方面で大變な評判です!
定價一圓五十錢(送料九錢)
紛れのない實物大型紙二種付
婦女界社

萬年筆用 イラトインキ
天下一品! 一家一瓶!
眞摯敢鬪! 五十八年、世界インキの最高地位を占むるライト!
東京 篠崎製

モスキトン
蚊よけ・カユミ止め
愛兒の肌を守れ!
モスキトンを塗つたお子さんは蚊や蚤、南京虫にも刺されずアンヨを投げて朗か

家庭常備藥
類似品あり「モスキトン」と御指名を乞ふ
大阪道修町 發賣元 マルホ商店

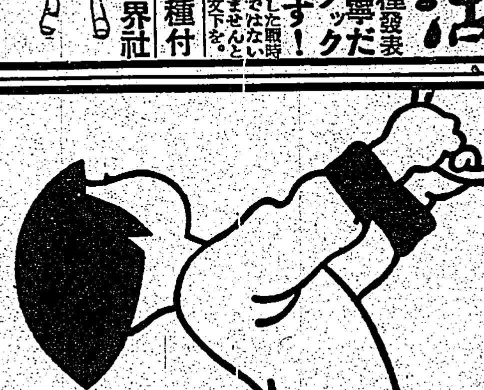
月やく
四十年來の古き特殊專門藥の製造元です。
愛知縣豐橋市公會堂前 中尾本家

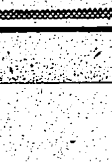
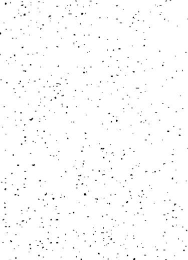
毛をはやせ
森下みや子

わきが
療法無代進呈
豐橋市西八丁ツの二 日本醫藥研究所

浮世繪
高峰書房

勝馬
算出秘錄奥傳
大興社


コンビタ
協力榮養劑 V·ABCD
製法特許
潑剌!
子供の發育を順調に進めるのも……風邪引き易い虛弱体質を強化するのも……結核や肺炎を完全に豫防するのも、全て榮養次第です
先づコンビターを常用して榮養の充實を圖つて下さい
コンビターは普通肝油の五十倍以上も、V·A·Dを含有する高單位肝油とV·B·Cとを合理的に綜合、一丸とした新發明で、實に日本唯一のV·A·B·C·D協力榮養劑です。
而も……お菓子の樣においしく……のみよい小粒……毎日一家揃つて、のんで下さい。
【毎日】大人 十粒 小人 五粒
發賣元 ノーシン本舖 荒川長太郎合名會社
製造元 帝國水產化工研究所
AC—42
VITAMIN A+B+C+D=COMVITA

肝油以上 三種の效果
農林省水產試驗場創製
ビタミンA·D + B_2 + 肝臓實質

國家の研究機關が創製
國民體位向上の叫ばれてゐる時——
エーデーは農林省水產試驗場がA·D·B_2濃厚なる極洋產特殊水產動物(Balaenoptera physalus)の肝臓實質を天然のまゝ藥劑化し之を國策會社が良心的技術で製造する唯一の製劑で、國民的高度榮養劑として推奬される
A·D單位不變 胃腸障害絶無
從來の肝油やA·D球と異り、非油狀で、しかも易吸性の甘美乳衣錠であるから、消化を害せず、曖氣なくA·D單位永年不變—老人、子供、殊に病弱者や重患後の補強に好適です
肝油以上
エーデーは一劑で、肝油劑B₂劑、肝臓劑の三種の効果を天然のまゝ有し、左の疾患に特に著しい効果がある
結核 虛弱兒 姙產婦 病衰時

エーデー A-D
百錠 二圓三十錢
製造元 東京芝公園 わかもと本舖
販賣元 水產化學工業株式會社
AIO—2